

読売理工医療福祉専門学校

2020 年度学校関係者評価 第 2 回報告書

2020 年 11 月 28 日

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価

学校関係者評価は、卒業生・保護者・地域住民・企業役職員等の学校関係者を委員として選任し、学校が実施した自己評価結果と取り組みに対する評価する。

委員は以下の項目について評価し、教育活動と学校運営の改善に向けて学校に助言する。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

2. 2020年度 第2回学校関係者評価委員会の実施

2020年度における各学科の各評価項目の取り組み状況と重点目標に関する取り組み状況を報告し、委員の方々に評価とご意見・ご提案を頂いた。尚、2020年度の重点項目とその進捗状況は次の通りである。

・**新型コロナウイルス感染に対しての感染予防策に努め、学生・教職員の安全を確保する。**

4月の緊急事態宣言発出により学校施設の利用も制限されたが、5月末に「新型コロナウイルス感染症防止対策と授業開始にあたっての教育運営ガイドライン」を定め、遠隔授業をスタートさせると共に、緊急事態宣言解除後の7月より対面授業の授業を実施しております。学校での対面授業にあつては教職員・学生がガイドラインに沿った日常の感染予防を行った結果、教職員・学生の皆さんから感染者は出ておりません。

一時収まりを見せていた感染者数が11月中旬から急激な増加傾向を見せ、文部科学省から感染予防の徹底について周知事項が届いており、教職員・学生に改めて気の引き締めを行い、学校内の感染リスクを出来るだけ抑えるため、「感染防止策を踏まえた教育運営ガイドライン」を新たに設ける周知している。

・**除籍退学率10%以下を目標として学生の指導にあたる。**

各学科ともに資料にあるように今年度の除籍退学者は昨年度に比べ減少していることがわかる。今年度前期は遠隔授業を中心に行っており、後期からの対面授業によって細かな学生への指導・対応が出来る。また、スクールカウンセラーによるカウンセリングについても遠隔オンラインで行う体制づくり出来ており、しっかりと学生に向き合った指導を行い、今年度の除籍退学率を減少させたい。

・**感染予防に務めながら、本校特色である実践的教育の質を確保する。**

ICTの充実した新校舎において、「感染防止策を踏まえた教育運営ガイドライン」に従って7月以降は実験実習も実施し、実践的面での教育の質を確保に務めている。

- 開催日時：2020年11月28日（土）14：00～15：30
- 場 所：読売理工医療福祉専門学校 305・306 教室
- 次 第：
 1. 挨拶：千葉 理事長
 2. 学校の現況
 - ① コロナウイルス感染症感染予防と教育運営：渡邊校長
 - ② 各学科の現況報告：各学科長
 3. 評価委員からの意見
 4. まとめ：渡邊校長

○ **【配布資料】**

1. 感染防止策を踏まえた教育運営ガイドライン
2. 前期リモート授業について
3. 2020年6月1日~同年11月24日 ZOOM 使用件数・時間・参加人数
4. 退学・除籍率と退学・除籍理由 2020年4月（2020年度）
5. 2021年度生募集状況
6. 学科現況報告

別添 2019年度自己評価 報告書

3. 学校関係者評価委員会委員および委員会参加者

【出席委員と学校側関係者】

① 学校関係者評価委員

- ・ 渡部 俊一：OB・理工専校友会会長
- ・ 笠原 啓弘：保護者・クロスメディア情報学科 2年
- ・ 杉田 明治：地域・春日後楽園地区 市街地再開発組合理事長
- ・ 中村 孝之：団体・日本建築衛生管理教育センター
- ・ 羽場 宏祐：企業・放送映像系
- ・ 鹿毛 信一：企業・建築系
- ・ 小嶋 守：企業・電気電子系
- ・ 伊藤 大輔：企業・臨床工学系
- ・ 大庭 尚子：企業・介護福祉学系

② 学校側出席者

- ・ 千葉 康文：理事長
- ・ 松井 敏宏：法人本部長
- ・ 渡邊 敏章：校長
- ・ 水落 清治：校長補佐
- ・ 小川 貴之：建築系学科長
- ・ 加瀬 俊広：放送映像学科長
- ・ 秋田谷 徳靖：電気電子学科長
- ・ 沢田 雄太：臨床工学系学科長
- ・ 曾我 辰也：介護福祉学科長
- ・ 大橋 賢一：総務室室長

(敬称略・順不同)

4 委員からの意見・提案（評価点：5点満点）

評価に関して段階（5＝申し分ない・4＝十分である・3＝標準的・2＝努力を要する・1＝不十分である）

● 感染予防と学生・教職員の安全を確保について（4.57）

- 1) 放送映像学科についての評価（4.57）
- 2) 電気電子学科についての評価（4.57）
- 3) 建築系学科についての評価（4.57）
- 4) 介護福祉学科についての評価（4.57）
- 5) 臨床系学科についての評価（4.57）

- ・ 学校として独自のコロナ感染症防止策、教育運営ガイドラインを作成し実施、オンライン授業と対面授業を効率よくセットで実施、教職員は夏季休業を返上し遅れをカバーする等、コロナ感染防止に努力している。
- ・ リモート授業 感染防止の対策は十分と思います。
- ・ どうしても対面学習や体験学習など必要な授業がありますが、今出来ることを必要な限りされていると感じました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の「感染防止策を踏まえた教育運営ガイドライン」を定め、適切に対応されていると思います。また、各学科とも遠隔授業を導入し、学生・教職員の安全を確保しつつ、必要な講義時間数も確保され、適切に対応されていると思います。

● 除籍・退学率の改善についての評価（4.34）

- 1) 放送映像学科についての評価（4.43）
- 2) 電気電子学科についての評価（4.29）
- 3) 建築系学科についての評価（4.29）
- 4) 介護福祉学科についての評価（4.14）
- 5) 臨床系学科についての評価（4.57）

- ・ 個人個人にこまめな面談を実施して 教員間の情報の共有化が必要と思います。
- ・ 数年前から比べると、年々かなり改善してきています。
- ・ 各学科とも、教員・スクールカウンセラーと連携し、学生のメンタル面のケアを実施するとともに、経済面においても奨学金制度や授業料延納分納制度の活用等適切に対応されていると思います。
- ・ 学校のコロナ防止策を各学科の教員はもとより学生への指導が徹底している。

● 感染予防を踏まえた教育運営 各学科の授業等の工夫（4.57）

- 1) 放送映像学科についての評価（4.57）
- 2) 電気電子学科についての評価（4.57）
- 3) 建築系学科についての評価（4.57）
- 4) 介護福祉学科についての評価（4.57）
- 5) 臨床系学科についての評価（4.57）

- ・ リモート授業 感染防止の対策は十分と思います。
- ・ どうしても対面学習や体験学習等必要な授業がありますが、今出来ることを必要な限りされていると感じました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の「感染防止策を踏まえた教育運営ガイドライン」を定め、適切に対応されていると思います。また、各学科とも遠隔授業を導入し、学生・教職員の安全を確保しつつ、必要な講義時間数も確保され、適切に対応されていると思います。

● 感染予防を踏まえた教育運営 就職対策 (4.57)

- 1) 放送映像学科についての評価 (4.00)
- 2) 電気電子学科についての評価 (4.57)
- 3) 建築系学科についての評価 (4.29)
- 4) 介護福祉学科についての評価 (4.00)
- 5) 臨床系学科についての評価 (4.00)

- ・ オンラインの面接になると思うが実際に合わないがよくわからない。
- ・ 面接の機会が減りなかなか学生と会えない。
- ・ このコロナ禍の中でも良いと感じております。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、新規採用を控える企業が数多くある中、就職を希望される学生への就職指導等適切に対応されていると思いますが、就職希望者の内定率が50%に満たない学科もあり、引き続き努力いただければと思います。

● 重点目標取り組み状況に関する全体の評価 (4.57)

- ・ コロナ対策 除籍退学者率の低下 努力されていると思う。
- ・ 新型コロナの影響で、変化していく社会の中で模索しながらでも先生方の努力を感じます。重点目標に向かって学院が一丸となって同じ方向にベクトルが向いていることがわかります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応等負担が増す中、適切な講義時間の確保、退学・除籍率の改善等適切に取り組まれていると思います。

● 2020年度の教育活動・学校運営に関する意見

- ・ 新校舎の移転に伴い施設の充実・環境の良さは申し分ない。残念ながらコロナの影響で登校できないし、現場学習もできていない。そこをオンライン授業で賄うのは大変ですが工夫をこらして頑張ってください。
- ・ この少子化の中、ほぼ定員を満たしていることは学院内の意識改革が良い方向にされていると考えます。今後も社会の変化に対応して行って頂きたいと思っています。
- ・ 就職指導については、新規採用を手控える企業が多い中のご苦労されていると思いますが、就職希望者の内定率100%達成に向け、引き続き努力いただければと思います。また、新年度の出願者数も対前年同期比で2割ほど下回っており、安定的な学校運営のためにも、定員充足率の目標達成に向けた対応が必要だと思います。

5. まとめ

今回の評価で委員の方々からいただいた意見・提案は、来年度の学校運営・教育内容に反映させていく。

以上